

マグロスキー誕生のひみつ

中央図書館事務部 図書総務課 青木 斐

1. 図書館員、夢を語る

中央図書館のキャラクタープロジェクトが始まったのは、2011年10月6日のことでした。その日、中央図書館長 村瀬憲夫（当時）が提案された「中央図書館の一層の開放を目指してプロジェクト（館長プロジェクト）」¹が始動し、参加メンバーは図書館に対する思いを熱く語り合いました。

そんな中で、広報戦略の1つとして、キャラクター制作が提案されました。「お堅いイメージを払しょくしたい。」「図書館は本や雑誌を読むだけじゃないって、みんなに知ってほしい。」「ほとんど来館せずに卒業するのは悲しい、在学中の一番の思い出は図書館だ、と言われたら良いね。」など、それぞれに図書館への関心の薄さを危惧し、打破する方法を探っていたのです。

その後、館長プロジェクト「広報系」課題検討グループにおいて、引き続き協議されたキャラクター制作は、中央図書館事務部により、正式に承認され、図書総務課の担当職員へと引き継がれることとなります。そして、2012年11月1日～30日、本学の学生・院生・教職員を対象に「近畿大学中央図書館のキャラクターとして、近畿大学をイメージできるデザインとネーミング」を募集し、その一歩を踏み出すこととなりました。

2. 「猫のイラスト」からキャラクターへ

88名、112点。予想を上回る応募にひとまず安心し、すぐに選考を開始しました。まずは、応募者の所属・氏名などを隠した状態で中央

図書館事務室内に掲示し、図書館職員による無記名投票を行いました。そして上位3位・5作品について、特許電子図書館や検索エンジン、図書館キャラクターのまとめサイトなどを活用し、類似したデザインやネーミングが存在しないか、権利関係を確認しました。²

関係部署の協力を得て慎重に確認した結果、5作品中4作品のみ通過、そのうち1作品はデザインのみ通過となりました。³こうして通過した作品を対象に再び図書館員による投票を行い選ばれたのが、理工学部理学科 日下部俊男教授のデザインでした。⁴なお、ネーミングは権利関係の都合で使用できないため、デザインを修正後、再募集することとしました。

デザインの補作・修正は、文芸学部芸術学科 安起瑩准教授の協力を得て、所属ゼミの学生にお願いしました。元イラストの特徴を生かしつつ、頭と目を大きくし、丸みを帯びた1.5頭身にすることで、「猫のイラスト」から「キャラクター」へと見事変身しました。

3. 吾輩は猫である。名前はまだ無い

2013年4月24日、最優秀デザインとともに、決まらなかったネーミングを再募集することを発表しました。また、募集に当たっては、キャラクターの個性を出すために、担当者で決めたプロフィール⁵を公開しました。結果、4月24日～5月8日にかけて再募集した「近畿大学中央図書館キャラクターにふさわしいネーミング」には、95名、110点の応募があり、さっそく選考を行いました。当初の募集と同様に、中央図書館による投票、関連部署による権利関係の確認と選考を進めていきま

したが、再募集の最終選考は、Web および用紙で、皆さんに投票してもらう方法を採用しました。

本プロジェクト本来の目的は、キャラクターの制作ではなく、図書館に関心をもってもらうことです。そのため、図書館だけで選考するのではなく、多くの方に参加してもらいたいと思ったのです。また、デザインの公表に当たって、権利関係の確認や学内の事務手続きに時間を要したため、応募者全員が在学している間に、結果を公表できなかった後悔もありました。図らずも実施することとなったネーミング再募集は、結果としてプロジェクトを盛り上げてくれました。

中央図書館で選定した9つのネーミング候補に対して、5月17日～31日の間、Web および用紙での投票を受け付けました。途中で1回、中間発表を行い、投票を呼び掛けたところ、最終的には1,350件（Web：1,279件、用紙：71件）の投票がありました。こうして選ばれたのが、文芸学部 文化・歴史学科 古本真優さんの応募作「マグロスキー」です。中間発表では4位だったマグロスキーは、終盤に怒涛の追い上げを見せ、337件（Web：323件、用紙：14件）の票を集めて、Web・用紙ともに1位を獲得し、最優秀賞に輝きました。

4. 歩き始めたマグロスキー

マグロスキーは、「近畿大学が成功したマグロの養殖とネコらしさをアピールしつつ、ロシア風のかっこいい感じにした」ネーミングで、キャラクターデザイン、そして今の近畿大学を端的に表しています。実際、反響は大きく、「近大っばいね。」という声もよく聞かれます。

また、キャラクター展開の第一弾として、マグロスキーをデザインしたうちを配布しました。裏面に中央図書館のお得情報などを記載することで、キャラクターのお披露目だけではなく、サービスの周知も目的としまし

た。猛暑に見舞われた今年、うちわは好評で、ブルーとピンク、どちらを選ぶのか、手に取って悩む人の姿も見られました。⁶

今後もマグロスキーを媒体とした Twitter による情報発信を開始しました。なかなか顔の見えない図書館員に代わって、マグロスキーが広告塔として活躍することで、中央図書館の良さをもっと多くの方にアピールできると信じています。そのためにもマグロスキーとともに、挑戦を続けたいと思います。

¹ 「中央図書館の一層の開放を目指してプロジェクト（館長プロジェクト）」

2011年10月、中央図書館長 村瀬憲夫（当時）の提案により、館員の柔軟かつ前向きな発想と意欲をくみ上げ、図書館運営に生かすことを目的に、既存の事務組織の枠組みを超えて編成された。

検討課題ごとに「広報」・「学習支援」・「地域図書館との連携」・「図書を受け入れ（購入）、配架、利用便の追求」「図書館の危機管理、新館建設」系検討課題チームに分かれ、2013年3月まで活動した。

² 権利関係の確認には、主に下記のDBやWebサイトを活用した。

- ・ 独) 工業所有権情報研修館「特許電子図書館」の「呼称検索・図形商標検索」
<http://www.ipdl.inpit.go.jp/homepg.ipdl>
2013年8月11日確認
- ・ Google・yahooの画像検索
 - ・ LiFo「図書館キャラクター」
<http://www.lifo-club.org/index.php?Lifo>
2013年8月11日確認
 - ・ kumori「トキャラ図鑑」
<http://kumori.info/data/characters.html>
2013年8月11日確認

³ 募集から選考に至るまで、総務部広報課（現広報部。2013年4月改組のため名称変更）、総務部法務課、リエゾンセンターの全面協力のもと実施した。

⁴ 日下部先生の応募作品



東大阪キャンパスに通うブチ猫をヒントに、読書好きな猫を描いた作品。

目を輝かせ、読書に集中する様子が、「好奇心が旺盛で、探究心が強い」学生の様子をイメージさせる。また、近畿大学の学園章をうまく取り入れている。

⁵ マグロスキーのプロフィール



性格：好奇心旺盛

：気になることはとことん追求

チャームポイント：瞳

好きなことば：挑戦

好きな本：おさかな事典

マイブーム：中央図書館の良さをみんなにお知らせすること

野望：近大マグロを丸かじり

ひなたぼっこポイント：中央図書館4-E閲覧室

⁶ マグロスキーのうちわ

